

獨活產地

〔食物知新書〕日域諸國名産

菜蔬 丹波有土丹州越前山羌活越前作有土武江

〔和漢三才圖會九十二末〕獨活〇中

備中平福之産佳、藝州廣島者次之、羽州最上獨活芽、有長二三尺者、太柔可食、

〔播磨風土記讚容郡〕室原山屏風如室、故曰室原、生人參獨活〇下略

〔本草和名十八〕水蘄仁謂正作一名水芙蓉反出陶景注、水英一名水勒出釋一名楚葵出衆和名世

利。

〔倭名類聚抄水菜十七〕芹 陸詞切韻云、芹音勤和菜生水中也、本草云、水芹味甘平無毒、一名水英、

〔日本釋名下〕芹 せまり也、其生ずる事、一所にしげくせまり合もの也、

〔東雅十三〕蘄三芹セリ 義不詳、倭名鈔に本草を引て、水芹一名水英、セリといふ、セリをもて呼びし物

も少からず、茺胡をノセリと云ひ、一にアマアカナといひ、當歸をヤマセリとも、オホセリとも、ウ

マセリとも云ひ、葶藶一にはハマセリといふ如きは也、

〔倭訓栞前編十三〕せり〇中 芹を訓ず、神代紀にそりと見えたり、此草一所にせり合て生ずるを

もて名とせる也、川せりともいふ、水芹也、大せりは渣芹也、三葉芹は野蜀葵也といへり、歌人根せ

りと稱するは、根の賞すべきをもて也、はたけせりふかせりは、新六帖に見ゆ、はたけせり又野せ

りといふは、早芹也、黄花のものを毛芹とす、

〔藻鹽草八〕芹

る〇云、人の異名也、又云、如葵とかきて、云ことよめり、同事花すはうにはさく草の水邊にある也、又

りか、又いしくそのみため、返し、心ざしふかき谷のつみため、いし、別の字と云々、かたみ釜

管、したみ籬、あしか蜜體の物也、と、ね芹、ふか芹、野芹、根白草